

ジェネリックで 薬代を上手に節約しましょう

新薬と同じ成分・効能で安全性も承認されており、お財布にもやさしいジェネリック。

ここ数年でだいぶ認知されてきましたが、こんな声をよく耳にします。

「どうやってもらったらいいの?」「自分がもらっているお薬はジェネリックに変えられるの?」など……。

処方してもらう方法はとても簡単なので、以下を参考にして、家計も大助かりのジェネリックを活用しましょう!

ジェネリックを処方してもらうには…

step1 「ジェネリック希望」と 医師に伝えましょう

医師に「ジェネリックにできますか?」とたずねてみましょう。厚生労働省の働きかけもあり、ジェネリックの活用に積極的に取り組む医療機関が増えています。気軽に聞いてみてください。



服用期間が長い薬ほど効果大
こんなに下がる薬代



代表的な新薬と、最も安いジェネリックを比較して算出した1年間の差額例(自己負担・3割の目安)。

高血圧症の場合

新薬	ジェネリック医薬品
6,647円	1,424円

差額…5,223円

step2 処方せんをチェック!

医師に処方せんをもらったら、「変更不可」の欄に「✓」または「×」がないか確認しましょう。記入されていないければ、ジェネリックに変更できます。



糖尿病の場合

新薬	ジェネリック医薬品
11,498円	4,763円

差額…6,735円

step3 処方せんをわたすとき、 薬剤師に相談を

薬局で薬剤師に処方せんをわたすとき、「ジェネリックをお願いします」と伝えてみましょう。最近では、薬剤師のほうから「ジェネリックもありますよ」と教えてくれる場合も増えています。



脂質異常症の場合

新薬	ジェネリック医薬品
9,286円	2,234円

差額…7,052円

(日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会「かんじゃさんの薬箱」より算出。平成28年4月現在)。

事業概要

(平成29年8月末現在)

事業所数



9事業所

平均標準報酬月額



男 371,701円
女 268,441円
平均 333,183円

被保険者数



男 1,975人
女 1,175人
計 3,150人

被扶養者数



1,281人
1人当たり扶養率
0.41人

介護保険第2号被保険者数



946人

Q 自分の服用している薬にジェネリックがあるか知りたいときは?

A 処方せんを薬剤師にわたすとき「この薬のジェネリックはありますか?」などと相談すると、薬剤師が調べてくれます。また、下記のホームページで薬の名前を入力して検索すれば、切り替え可能なジェネリックの名称や価格を調べることができます。

かんじゃさんの薬箱(日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会)
<http://www.generic.gr.jp/>

かんじゃさんの薬箱

検索